



校長だより(職員編)

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠

授業における「居場所」づくりのカギは「対話」!

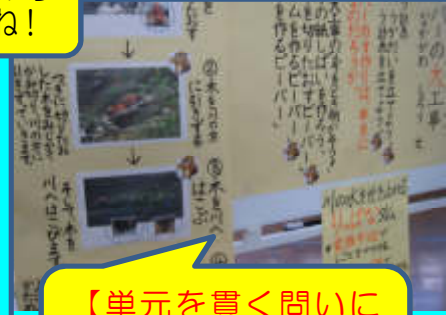
11月4日、校内授業研究(全体会)を実施しました。
この度は、田村莉花教諭による第2学年国語(説明文「ビーバーの大工事」)の授業研究でした。説明的文章の授業の本質と授業における「居場所」を追究しようとしたことがよく分かる大変優れた授業でした。

【教科書がすらすら読めるようになることもきちんと押さえた授業でしたね!】

【リミット(条件)の提示!】こういう授業を続けると国語力は確実に向上しますね!



【タブレットの活用】本時のねらいにせまるために、教師が創作した補助的な挿絵を児童に提示しました!



【単元を貫く問いにせまる】これまでの学習の足跡を掲示!



【構造的な板書】

【自己内対話のときの支援のあり方】どの児童にどんなヒントカードで支援すべきだったのか?



【今回は自己内対話の時間を多めに!】リミット(条件)を明確に提示していたからこそ、どの児童も自己内対話に取り組みました!



【今回は協働的な学びの時間は少なめだったが・・・】時間は短くても何を協働したいのかが児童にとって明確であり、友だちの取組も知りたいという意欲がもてる中での設定だったため、深まりのある時間になりました!

【「発展的振り返り」がまさに「発展的振り返り」になっていた授業でしたね!】



【協議の柱がぶれない協議会】「居場所」と「LSC」に終始こだわり、大変深まりのある協議会でした。